



# 第27回上田八木・金融政策サーベイ(2019年4月)

発表日：2019年4月23日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年4月18日～22日
調査先	186先
回答率	88.7%

## （Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（4月24日～4月25日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回3月13日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	99	+0
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	▲1	+0

## （Q2）3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月13日)	変化幅
低下	1	30	▲29
不変	95	68	+27
上昇	4	2	+2
短期金利予想DI	+3	▲28	+31

## （Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月13日)	変化幅
低下	4	10	▲6
不変	90	85	+5
上昇	6	5	+1
2年国債金利予想DI	+2	▲5	+7

## （Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回3月13日)	変化幅
低下	6	7	▲1
不変	80	79	+1
上昇	14	14	+0
10年国債金利予想DI	+8	+7	+1

## 質問（Q5）現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

（ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません）

	(今回)	(前回3月13日)	変化幅
1. 1年未満	2%	3%	▲1%
2. 1年以上3年未満	56%	49%	+7%
3. 3年以上	42%	48%	▲6%